

## もんぺとモンペ

JJ1SXA/池

もんぺは、日本で用いられる女性向けの労働用ズボンないし袴の一種である、ゆったりした胴回りと足首の部分で絞った裾が特徴であり、着物の裾や上着を中に入れることができ、活動に適する。もっぺ、もんぺいとも呼ぶ。雪袴。股引が語源といわれている。…Wikipediaによる

私のような戦中派の田舎者には、女性の服装としては当たり前、老いも若きも一律の服装、何の違和感も無かった。

でも、我々年代でも、都会育ちの人達には戦争を思い出させるファッションのようだが、今、戦争の時代を知らない若者には、斬新なデザインと映るようで、復活し、派手な柄物があったりで、一部人気があるようだ。

「もんぺ」は平仮名だが、一方、片仮名の「モンペ」は、モンスターペアレントのことで、一言で言うと、自己中心的で理不尽な要求をする親のことだ、子供に対する家庭の躰もろくろくしないで、と言うかできない親が、偉そうに無理無体な要求を押し通しているらしい。

以下は、実際の話しだそうです、「掃除当番をさせるな業者を雇え」、「娘がアイドルになりたいので窓際の席にしないで」、「給食費を払っているのだから給食でいただきますを言わせないで」、「虫刺されがあるなんて信じられない、二度と虫に近づけないで」、「親が忙しいから遠足にコンビニ弁当を持たせろ」、「学校に来ない生徒がいると説明すると、義務教育なんだからお前が来い」

いやはや、驚きです、もっと強烈な事件は、ある保育園の所長は、自殺に追い込まれ、公務による死と判定されたケースもあるようだ、「あな恐ろしやモンペかな」です。

近年、「ヘリコプターペアレント」と言う言葉ができた、これも一言で言うと、過保護すぎる親のことだそうだが、もう大人にならなければいけない年頃の大学生の子供に、頭上を旋回するヘリコプターのように寄り添い、トラブルが起きたら介入してくる過保護すぎる親、子離れ、親離れができていない。

小学3年まで、「男女〇才にして席を同じうせず」などという言葉が子供心に植え付けるような教育環境だった私には、中学で母親が学校へ来るなど拒否反応があったが、現代では大学の入学式、卒業式に父兄が同伴するのは当たり前の時代、隔世の感があります、それどころか、就職試験に父兄同伴、そして驚くことに、面接試験に、父兄同伴どころか親が同席するケースまで出ているようで、子離れ、親離れができないことが、このような事態を招いているようだ、ここまで過保護だと、子供は独立心など持てない、偏差値は高くても、まともな大人になりようが無い、こんな環境で育った秀才が官僚になり、政治家になって国を動かしている、嘆かわしいの一言だ。